

さけます展示施設訪問 柏崎さけのふるさと公園

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産総合研究センター
	公開日: 2024-07-03
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者:
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2009742

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



さけます展示施設訪問

柏崎さけのふるさと公園



施設を管理している片山文三さん。「子供達に少しでもサケのことを知ってもらい、サケを食べてほしいね。」



人工河川を上るサケの群（上）と、展示館裏のふ化場（下）。



館内には剥製、解説パネル、飼育水槽等が展示されている。

新潟県柏崎市を流れる流程 10 km ほどの小さな川、谷根（たんね）川。その川縁に建つ「柏崎さけのふるさと公園」は展示館とふ化場を併せ持ち、自然や命の大切さを体験、学習できる施設です。

谷根川とサケとの関わりは、昭和 51 年、8 尾の迷いサケが川に上ったことをきっかけに始まり、試験的なふ化放流がその翌々年から開始されました。平成 14 年には現在の施設が開園し、毎年 1,300 千尾のサケ稚魚を放流、数千尾の親魚が遡上し、そして約 2 万人が観光、体験、見学にこの公園を訪れます。

展示館内には、サケの生態や増殖事業を写真や図で解説したパネル、サケの剥製、谷根川に棲む魚などが展示され、ガラス一枚で仕切られた採卵

場では実際にサケの採卵も行われます。10-12 月には、展示館の横に設備された人工河川をサケの親魚が遡上し、その様子は壁面に開けられた窓から間近に観察できる仕組み。また、時季毎に、稚魚の放流式、採卵体験、教育用種卵の提供、谷根川産サケの学校給食など、実際に見て触れて味わう体験学習が実施され、好評を得ています。公園管理とふ化放流を担当する片山さん（柏崎市さけ・ます増殖事業協会）も「見るのと体験するのでは全然違う。できる限りオープンにしたい。」と、サケとふれあう機会づくりに意欲的。

毎年 11 月には恒例の「さけ豊漁まつり」が開催され、地元市民を始め多くの来園者で賑います。



柏崎さけのふるさと公園

新潟県柏崎市大字青海川 81 番地 4 TEL 0257-26-2305

入館料 無料

営業時間 午前 9 時～午後 5 時

休館日 4～9 月 毎週水曜日、10～12 月 無休、1～3 月 休館